

景観形成基準チェックシート（工作物）

記入者：	
行為の場所：	該当ゾーン：

区分	景観形成基準	ゾーン区分			チェック欄	具体的な工夫 又は 配慮の内容
		山地・丘陵地	田園	市街地		
位置及び規模	• 地域の主要な眺望点からの眺望を妨げない位置及び規模とすること。	●	●	●		
	• 山稜の近傍にあつては、稜線を遮らない位置及び規模とすること。	●	—	—		
	• 道路、河川等公共的な空間に接する部分は、歩行者等に対する圧迫感、威圧感等を緩和するような位置及び規模とすること。（大規模行為限定）	●	●	●		
	• 歴史的な建造物等に近接する場合は、歴史的景観の保全に配慮した位置及び規模とすること。	●	●	●		
	• 水辺に近接する場合は、水際線を遮らない位置及び規模とすること。	※	※	※		
形態及び意匠	• 周辺の景観と調和する形態及び意匠とすること。	●	●	●		
	• 歴史的な建造物等に近接する場合は、伝統的な意匠を継承し、又はその歴史的な建造物等と調和する形態及び意匠とすること。	●	●	●		
色彩	• 地域の特性に配慮し、周辺の景観に調和する色彩とすること。	●	●	●		
材料	• 外壁には、できる限りその地域で産出した材料又はその地域で伝統的に使用されている材料を用いること。	◎	◎	◎		
	• 外壁には、経年により景観を損なうことのないよう耐久性に優れた材料を用いること。	◎	◎	◎		
敷地の緑化	• 敷地内は、周囲の自然との調和に配慮し、できる限り緑化すること。	●	●	◎		
	• 緑化に際して、形状又は樹勢の優れた既存の樹木がある場合は、保存又は移植により、修景に活用すること。	●	●	●		
	• 樹木による緑化に際しては、周囲の景観及び植生と調和し、その地域で親しまれている樹種を選択すること。	●	●	●		

区分	景観形成基準	ゾーン区分			チェック欄	具体的な工夫 または 配慮の内容
		山地・丘陵地	田園	市街地		
その他	● 屋外照明を設置する場合は、夜間の景観を良好なものとし、かつ、過剰な光が周囲に散乱しないよう配慮すること。	●	●	●		
	◎ 工事中は、敷地の周囲の緑化、景観に配慮した工事塀等により、できる限り修景の工夫をすること。(大規模行為限定)	◎	◎	◎		
	● 工作物に附帯する広告物は、工作物本体及び周辺の景観と調和する位置、規模、形態、意匠、色彩及び材料とすること。	●	●	●		
	※ 工作物の移転後の跡地は、周辺の景観と調和させること。	※	※	※		
	● 太陽光パネルは、位置や規模、形態、意匠、色彩、光沢、反射など周辺環境に配慮すること。	●	●	●		

●：良好な景観まちづくりのために遵守する項目

◎：良好な景観まちづくりのために努力する項目

※：より良好な景観まちづくりのために配慮する項目

—：該当しない項目